

教育研究データ			
1. 氏名	溝渕 淳		
2. 生年月	1974年1月		
3. 取得学位	修士（社会福祉学）		
4. 教育業績			
教育上の能力に関する事項	年月	概要	
(1) 教育内容・方法の工夫	2008年4月 ～	①「相談援助演習」のカリキュラム改訂を見据えて、チームアプローチによる授業展開を模索し、『人間福祉研究第7号』（2009）において、「チームアプローチによる社会福祉援助技術演習の授業展開－カリキュラム改訂をふまえて－」として実践報告をおこなった。	
	2015年4月 ～	②人間福祉学科の初年次教育充実のため、「人間福祉基礎演習」の担当として、アカデミックスキルの修得や将来像の確立、学びのモチベーションアップなどを目的とするプログラムを構築・展開した。その成果を学科紀要にまとめ、報告した。	
(2) 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	2016年4月 ～	①全国社会福祉協議会の社会福祉主事養成課程の面接授業に10年以上携わってきた成果から、社会福祉士短期養成課程の面接授業担当の依頼を受け、4年間継続して任に当たっている。8日間という限られた時間の中で、社会福祉士資格取得を目指す、主として現場職員に対し、シラバス内容に沿ってプログラムを開発し、実施している。また、演習の展開方法について面接授業に携わっている教員・現場職員らと研究会を開催し、研鑽に努めている。	
	2017年2月	②日本社会福祉士養成校協会の中四国ブロックセミナーの教員研修会（広島 YMCA 国際文化センター）「実習教育の充実にむけて」のシンポジウム「実習計画書を踏まえた実習プログラムの展開～実習現場から養成校に対する期待～」において、コーディネーターを務めた。	
5. 研究業績			
(1) 著書	単著 共著 の別	発行の年月	発行所

①『高度専門職業としてのソーシャルワーク 理論・構想・方法・実践の科学的統合化』	共著	2017年3月	光生館
②『子育て支援セミナー』	共著	2019年4月	建帛社
(2) 学術論文	単著 共著 の別	発行の年月	掲載紙および巻/号, 頁
①支援ツールの意義と方法	共著	2001年1月	『ソーシャルワーク研究』 vol.26 No.4, 19-26
②「授業をする」ことを目的とする援助技術演習の実践」	単著	2011年3月	『人間福祉研究』第9号 広島文教女子大学人間福祉学会, 45-54
③「広島文教女子大学における福祉教育の改善に関する研究(第1報)」	共著	2014年3月	『人間福祉研究』第12号 広島文教女子大学人間福祉学会, 19-24
④「日本における家族の再統合支援をめざして」	単著	2018年3月	『人間福祉研究』第16号 広島文教女子大学人間福祉学会, 2-15
⑤「外在化」の概念から読み解くソーシャルワーク」	単著	2020年3月	『人間福祉研究』第18号 広島文教女子大学人間福祉学会, 35-43
(3) 研究・作品発表		発表の年月	発表学会等
①独立型社会福祉士の職務実態とニューズーソーシャルワークの固有性にねざした独立型社会福祉士開業システム構築に向けてー(共同研究)		2011年10月	日本社会福祉学会第59回全国大会 (淑徳大学)
②「独立型社会福祉士の開業システムの構築をめぐる現状と課題」(共同研究)		2014年6月	日本ソーシャルワーク学会 第31回大会 (日本福祉大学名古屋キャンパス)
(4) 所属学会			
①日本社会福祉学会			
②日本ソーシャルワーク学会			
③日本新経路医学会(理事)			